

3.6 ひょうたん号の利用実態・課題（ひょうたん号アンケートより）

(1) ひょうたん号の利用実態

●週1～2回、月2～3回程度、通院・介護サービスの利用が多い

→ひょうたん号利用者においては、週に1～2回、月に2～3回以上の利用をあわせ過半数であった。また、目的については通院・介護サービスの利用が大半であった。毎日の利用よりは、月または週数回の通院交通としての利用が多数である。（ようたすカーと類似する）

●行きは午前7～8時台、帰りは午前11～12時台、午前9～10時台の利用割合が高い。

→行きは午前7～8時台が5割以上であり最も多い。帰りは、午前11～12時台と早い利用であり、一日一往復のひょうたん号の通院帰り（往復利用）と考えられる。

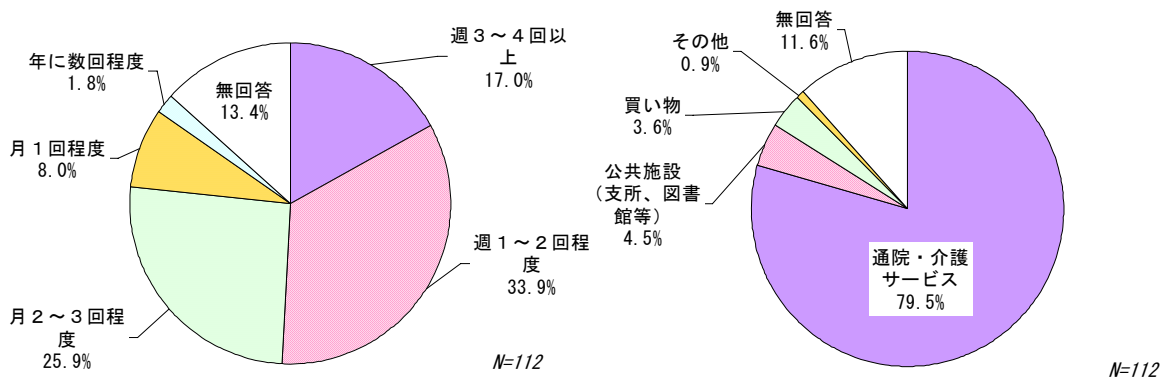


図 3-15 ひょうたん号の利用する回数

図 3-16 ひょうたん号の利用する目的

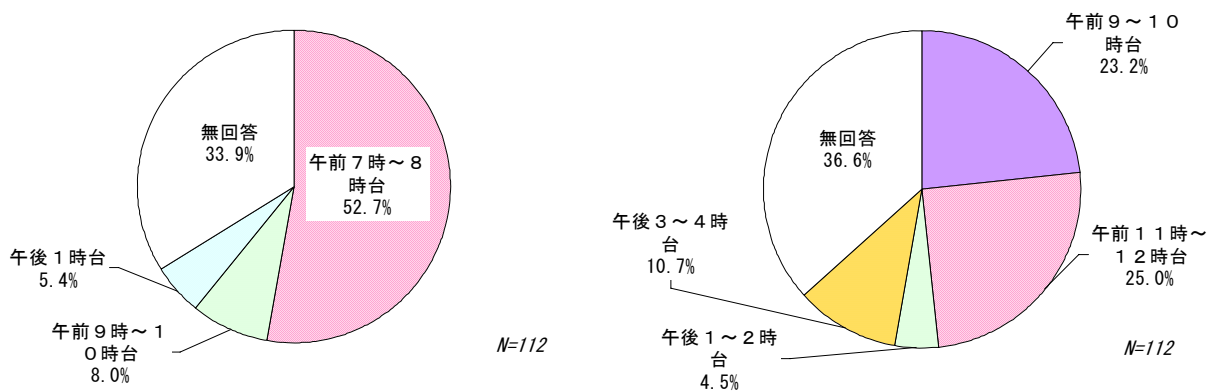


図 3-17 ひょうたん号の利用する時間（左：行き、右：帰り）

(2) ひょうたん号の利用の満足度

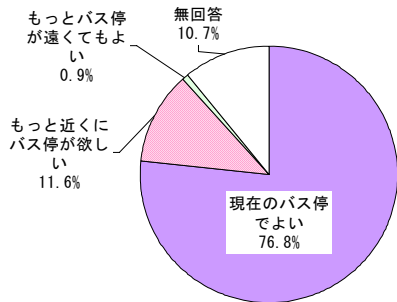
- 「バス停位置」「行き先」「運行時間」などほとんどの項目で満足度が高い

→ 評価項目別のひょうたん号の満足度については、全ての項目で6割以上の満足度が得られている結果であった。特に「定時性」についての満足度が高い。

- 「運行本数」の満足度が比較的低い

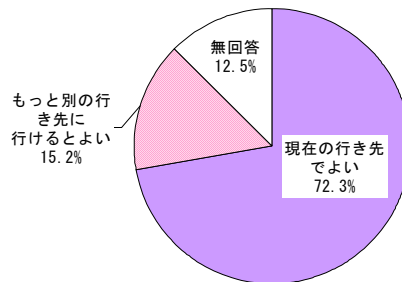
→ 「運行本数」については「本数が少ないので増やして欲しい」が2割程度であり、満足度の比較的低い項目であった。

①バス停の位置



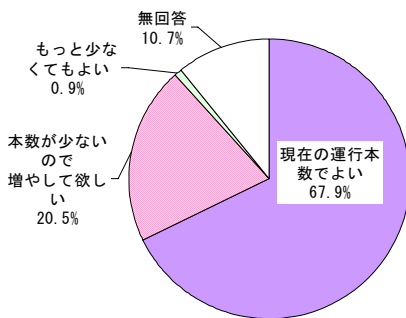
N=112

②行き先



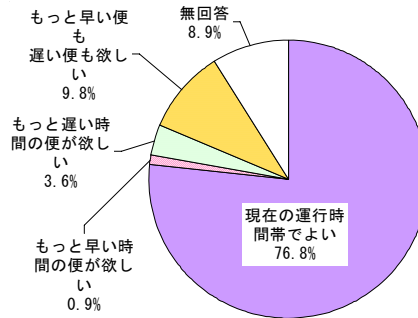
N=112

③運行本数



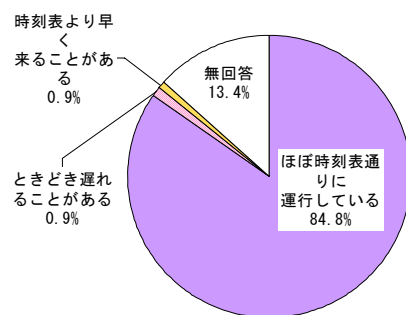
N=112

④運行時間



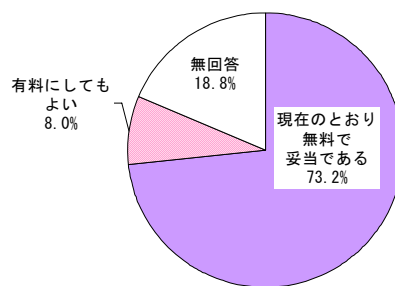
N=112

⑤定時性



N=112

⑥料金



N=112

図 3-18 ひょうたん号の利用のしやすさ